

死亡災害ゼロ・アンダー190 伊勢

令和5年
6月号

令和5年 労働災害発生状況

伊勢労働基準監督署
5月末速報値

伊勢労働基準監督署管内（伊勢市、鳥羽市、志摩市、度会郡）における令和4年（確定値）の休業4日以上¹の死傷者数（新型コロナウイルス感染症に係る疾病者を除く。）は図表のとおり、死亡者数は0人、休業4日以上¹の死傷者数は82人です。

全業種合計では、7人（9.2%）の増加となり、業種別では製造業が、事故の型では墜落・転落、切れ・こすれ、動作の反動・無理な動作が増加しています。

このうち、墜落・転落災害については、階段・高所での転倒により墜落・転落したといった、その性質としては転倒災害に近いものが大半となっています。

7月1日から7月7日は全国安全週間であり、また7月は墜落防止強調月間でもあります。

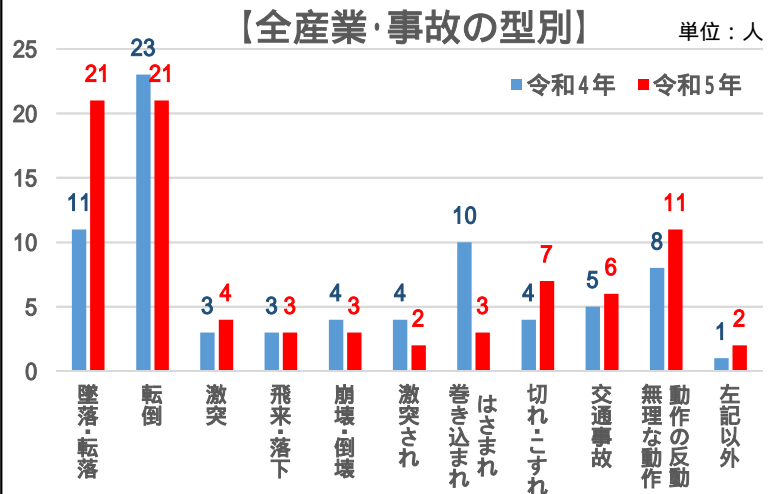
近年の墜落災害は建設業における足場からの墜落よりも、トラックの荷台、ハンゴ・脚立、階段など様々な業種で発生しうるものが中心となっています。

そのため、全ての業種において墜落・転落災害を防止するための取組にご協力をお願いいたします。

【令和5年 休業4日以上¹の死傷災害発生状況 伊勢署】

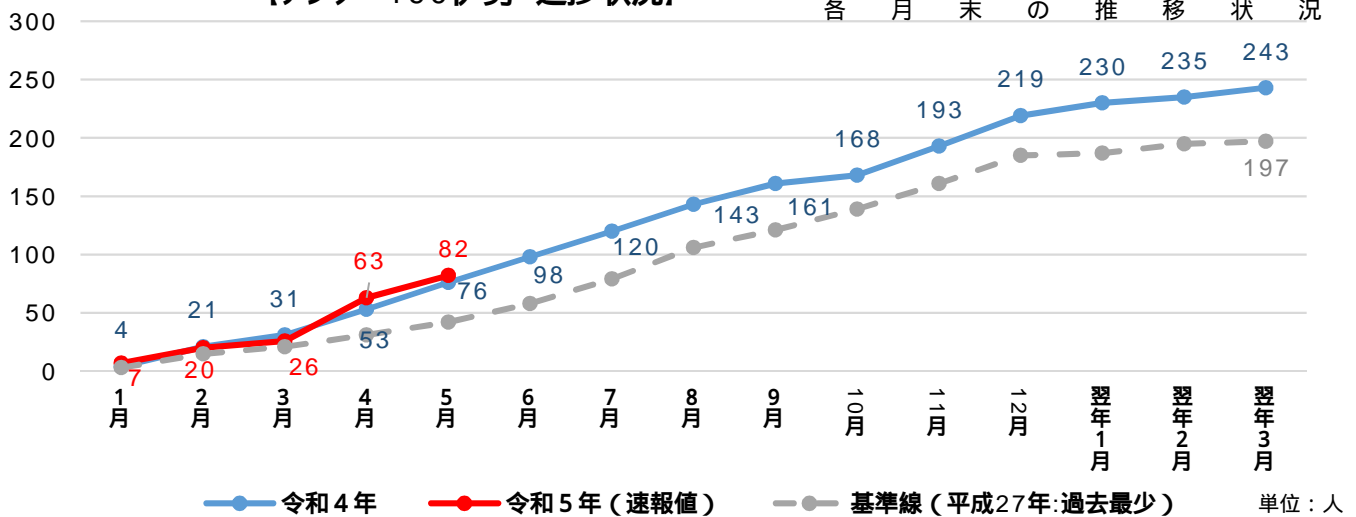
	令和4年		令和5年		前年比	
	死亡	死傷	死亡	死傷	(死亡)	(死傷)
全業種		76		82	+7	+9.2%
製造業		11		16	+5	+45.5%
建設業		13		12	-1	+7.7%
道路貨物運送業		3		3	±0	±0.0%
林業		2		2	±0	±0.0%
小売業		13		11	-2	-15.4%
社会福祉施設		10		10	±0	±0.0%
旅館業		8		9	+1	+12.5%

【全産業・事故の型別】



【アンダー190伊勢 進捗状況】

休業4日以上¹の死傷者数
各月末の推移状況



一日署長によるパトロールを実施しました

伊勢労働基準監督署では、令和5年6月27日（火）に、伊勢労働基準協会との共催により、一日労働基準監督署長による職場パトロールを実施しました。

一日署長には地元サッカークラブである FC. ISE-SHIMA の理事長兼監督である小倉隆史氏が就任し、横浜ゴム株式会社三重工場（伊勢市御園町高向 1038 番地）において同社に雇用される選手3人とパトロールを実施しました。

また、当日は FC. ISE-SHIMA の選手に対する、令和5年度の SAFE サポーター就任式も併せて実施しました。

パトロールでは、小倉一日署長が横浜ゴム株式会社大楽工場長から、トラック用のタイヤを製造する工程について案内を受け、選手が工程を実演しながら機械の安全装置、緊急停止装置、熱中症防止のスポットクーラー、転倒防止措置などの設備を確認しました。

また、SAFE サポーターとなった選手らは、危険箇所の確認を行い「消火器の設置場所が頭を打ちかねない場所である」、「製造現場のステージから踏み外して墜落する危険性がある」、「配電ケーブルの架線に引っかかって断線・感電する危険性がある」などの指摘を行いました。



挨拶をする小倉一日署長



製造工程を見せる及川選手と小倉一日署長



左上: 消火器の設置場所について指摘する及川選手
 右上: ステージからの墜落について指摘する伊藤選手
 左下: 配電の架線箇所について指摘する中岡選手
 右下: 講評を行う小倉一日署長

講評においては、小倉一日署長から、「選手が働く現場の安全管理がしっかりとなされていて安心した」、「転倒や腰痛の災害が多いと聞いて、昨年度ストレッチ動画を作成した。今年度も新しい動画を作成しているので活用してほしい」との話がありました。

伊勢労働基準監督署では、昨年度から FC.ISE-SHIMA と連携し、転倒・腰痛災害防止の体操動画の作成など、労働災害防止のための取り組みを行っています。今年度も新たな動画の作成、イベントの実施などにより、様々な方への労働災害防止の周知啓発を行ってまいりますので、よろしくお願いいたします。